

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人
脳損傷友の会高知 青い空

1 事業の成果と課題

30年度も月例会(毎月第3日曜日)、女子会(毎月第2土曜日)、中土佐町つどい処(奇数月第4土曜日)の会を続けて行うことができた。

指定障害福祉サービス事業所(就労継続支援B型)青い空は、開所日数=249日、延べ利用者数=4,627人(+562人、+14%)、1日平均利用者数≒18.58人(+1.85人、+11%)、実延べ作業時間=21,383時間(+2,109時間、+11%)、工賃支払総額=4,008,220円(-151,495円、-4%)、平均時給≒187円(-39円、-17%)となり、昨年度に続き平均時給が前年度比マイナスとなった。昨年までは年間延べ利用者数及び作業時間の増に比して平均時給のマイナス比を抑えることができていたが、今年は平均時給が大きく低下した。今後も利用者増が見込まれるため、新たな収入先を得ることが急務である。

事業所の作業は、大前田商店様からの浄水器カートリッジ分解作業が、前年度比約17%増となり最も安定した収入源になっており、前年の伸び率(6%)を大きく上回った。また、主として高知ガス様、土佐ガス様のご厚意で継続しているガスメーター等の分解作業、ナカイテレビ様のご厚意で配線を提供していただき、銅線の剥線作業も、大きな収入源になっている。レザークラフトは、現在、2名の利用者が取り組んでいる。1名はほとんどの工程を単独でできるようになっており、店舗販売だけでなく障害福祉サービスなどのイベント会場での出店・販売を行ってきた。農作業として、農家の山本様より野菜の種植えの仕事を頂き、重要な収入源となっている。

新たな作業として、平成30年8月より近森リハビリテーション病院様の1階で「cafe BLUE SKY」としてカフェ経営を開始した。現在は主に2名の利用者が従事しており、飲み物やソフトクリーム、すずめ旭天神センター様のお菓子、青い空で作成したレザークラフトなどの販売を行っている。今後は接客業務の適正のある利用者を配置し、作業人数の増加を計画している。また、カフェ経営場所が病院であることから、当事者として入院患者様の相談・助言役となれることも目標としている。

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
理解を広めるための事業	つうしんブルースカイ発行 日本脳外傷友の会 全国大会参加 アメニティフォーラム参加	毎月1回 10/19・20 2/8～ 2/10	事務所 三重県	5～6人 6人	会員・医療・福祉・行政200部 約400名	4,463
社会参加を促進するための事業	新年会 花見大会	1/27 3/30	土佐御苑 高知市	4人 3人	29人 12人	0
相談、調査、支援事業	月例会 女子会 つどい処	第3日曜 第2土曜 奇第4土	青い空 青い空 つどい処		当事者・家族・医療関係者等 12～20人	0
社会福祉サービス事業	就労継続支援B型事業 青い空	平日8:30 ～17:30	青い空	5人	当事者30人 家族30家族	43,386
特定相談支援事業	高次脳機能障害相談所 青い空	平日 10:00～	青い空	3人	高次脳機能障害を呈し利用を希望する者。	1,966
居宅・介護予防サービス事業	該当なし					

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
物品・食品等の製造及び販売事業	該当なし					
出版物の販売及びビデオ等の貸し出し事業	該当なし					